

ヤマハモーターไฮドロリックシステム株式会社 の取り組み

活動内容

- ◆生物多様性喪失の5大要因の一つである水質汚染に対し、表面処理のめっき排水を沼津市協定値を遵守した上で無害化し河川へ放流。
めっき排水を還元、凝集、中和し、3つのろ過機を通り、放流槽でpHの監視・調整し放流しています。沼津市と協定した放流規制値より厳しい社内基準値を設け、社内での分析と分析業者で発行した計量証明をもとに水質を維持監視しています。トータルイオン濃度を下げ、河川の水生生物などの生態系により優しい排水に変え、近隣の地域にも配慮した活動を推進しています。
- ◆生物多様性喪失の5大要因の一つである気候変動 温室効果ガスの排出に対し、太陽光発電を通じた再生エネルギーを活用しています。再エネ比率 現状15~20% 2026年に30%超過を目指し、更に追加導入中。
- ◆年に2回、工場周囲を沼津市一斉クリーン週間でゴミ拾いを実施し、環境保全の維持に努めています。



リンク先